

決算報告書

第 1 期

自 2024 年 1 月 22 日

至 2024 年 3 月 31 日

目次

活動計算書 2

貸借対照表 3

財務諸表の注記 4

財産目録 5

事業報告書 6

一般社団法人ふくやまシュタイナー学園

活動計算書

2024 年 1 月 22 日 ～ 2024 年 3 月 31 日 まで

(単位:円)

科 目		金 額	
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	814,000		
賛助会員受取会費		814,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金	0		
		0	
3. 受取助成金等			
受取公的助成金	0		
		0	
4. 事業収益			
〇〇事業収益	20,000		
		20,000	
5. その他収益			
受取利息	6		
雑収益		6	
経常収益計			834,006
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
役員報酬			
給料手当	98,680		
福利厚生費			
人件費計	98,680		
(2) その他経費			
教材費(消耗品)	44,235		
教材費(学習の器具等)	5,101		
給食費	13,976		
水道光熱費	7,618		
通信運搬費			
支払手数料	330		
交際費	9,830		
旅費交通費			
賃借料			
修繕費			
保険料	3,340		
諸会費			
租税公課			
広告宣伝費			
雑費	10,000		
その他経費計	94,430		
事業費計		193,110	
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬			
給料手当			
法定福利費			
人件費計	0		
(2) その他経費			
雑費	110		
租税公課	4,800		
その他経費計	4,910		
管理費計		4,910	
経常費用計			198,020
当期正味財産増減額			635,986
前期繰越正味財産額			589,150
次期繰越正味財産額			1,225,136

法人名：一般社団法人ふくやまシュタイナー学園

貸借対照表

2024 年 3 月 31 日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,225,136		
流動資産合計		1,225,136	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			1,225,136
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		589,150	
当期正味財産増減額		635,986	
正味財産合計			1,225,136
負債及び正味財産合計			1,225,136

法人名：一般社団法人ふくやまシュタイナー学園

財産目録

2024 年 3 月 31 日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	19,227		
広島銀行	1,205,909		
	0	0	
	0	0	
流動資産合計		1,225,136	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			1,225,136
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			1,225,136

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正
NPO法人会計基準協議会）によっています。

事業報告書

1. フリースクール事業

目的：当学園の理念「自らの使命を生きたことを通して果たしていける社会の実現」を達成するため、子どもがシュタイナー教育を柱にしたあたたかな学びの場で、自分らしさを輝かせ、世界とわくわくつながることで、健全に育つこと。そのための小学生のための教育活動。

参加者：5名（小学2年生2名、小学4年生2名、小学5年生1名）

活動：平日（月～金曜日）の8：45～14：45

※土日祝は休日、また3/12～3/31は春休み

成果：不登校であった子の3名のうち2名がほぼ毎日通い、学園で学ぶことができました。漢字や計算などの基礎学力に加えて、郷土学で地域の方と話したり、児童同士で話し合ったりなどがあり、「学校に無理に通わなくても良い」という考え方もありますが、家にいたのではできない学びであったと考えています。また、家庭の意向で、公教育とは違う教育を求めて参加した子も、「授業が楽しい！」と言っていて、成果があったと感じています。

なお、1名の子は、残念ながら途中で休会することになったため、そういうことが極力無いように、今後の課題ととらえています。

今後の予定：次年度も引き続き、同事業を実施。現在は小学生が対象ですが、小学6年生の子が中学生になる2025年度に中等部を設立予定です。

2. おひさまクラス

目的：当学園の理念を達成するための幼児とその保護者のための教育活動

参加者：延べ8名（小学2年生2名）

活動：1月23日、2月7日、2月21日、3月6日

13：00～15：00

室内あそび、お散歩、おやつづくり、絵本、手遊びなど

成果：自然のリズム、動と静のリズムを大切に活動ができ、子どもも大人も楽しんでいました。

3. 茶話会

目的：当学園の理念を達成するための大人対象の学びの場

参加者：6名

活動：1月23日、3月6日

15：00～16：00

シュタイナー教育を中心にした学びとシェア

成果：シュタイナー教育を学びたいと東広島市から参加される方もおり、また内容についても、満足して帰っていただけたと考えています。お互いの考えをシェアするには少し時間が短かったことが課題です。また、ボランティアの方に託児をお願いしたところ、託児での参加が多く、そのことで参加しやすさにつながったようでした。